

平成22年度自治体国際協力促進事業（モデル事業）

## ブラジルパラナ州との 教育協力促進事業



〈パラナヴァイ市長と〉

豊橋市

## 【経緯】

本市は、平成 23 年 1 月現在、人口の約 4.3% が外国人という国際都市です。その内ブラジル国籍の方が半数以上を占め、浜松市に次いで全国で 2 番目にブラジル人の多い市です。

こうした中、外国人市民は、言葉や生活習慣、文化の違いなどから様々な問題を抱え生活しています。とりわけ、外国人児童生徒教育は本市の課題の 1 つです。市教育委員会では、県からの支援も含め多数の教員を配置するなどの人的配置をはじめ、研修会を実施するなど、外国人児童生徒が夢をもって学校生活を送れるような施策を数多く行っています。

平成 20 年にはパラナ州パラナヴァイ市教育委員会と教育交流促進のため、友好提携も締結しました。

さらに、本市では（財）自治体国際化協会の「自治体職員協力交流事業」を活用し、平成 19 年度以降、市内のブラジル人児童が多く在籍する小学校でブラジル（主にパラナヴァイ市）から教員 1 名を海外協力交流研修員として約半年間受け入れ、研修や情報交換を行っています。また、豊橋市の教員をパラナヴァイ市などへ 1 ヶ月間派遣し、ブラジルやその国の教育についての研修を積み重ねています。

このような交流に加え、平成 21 年度に日系のパラナ州議員が来豊の際に、パラナ州での教育改革への支援を依頼されたことが契機となって、自治体国際協力促進事業を活用しての指導主事派遣へと話が進みました。

## 【本事業の内容】

- 1 実施時期 平成 22 年 6 月 1 日～平成 22 年 11 月 30 日
- 2 派遣者 豊橋市教育委員会  
学校教育課 指導主事 池崎 勇



### 3 事業相手自治体等名並びに訪問地

ブラジル連邦共和国パラナ州、パラナ州内各市（クリチバ市、マリンガ市、アピカラナ市、アラポンガス市、アサイ市、パラナヴァイ市）

### 4 事業目的

- ① 日本（豊橋）に在住する外国人児童生徒の教育向上のために、ブラジル並びにブラジル教育に関する情報収集
- ② 相手自治体の教育改革支援のために、日本の教育制度・内容の情報提供
- ③ 両国間を行き来する子ども達の転編入並びに導入教育のスムーズ化の模索・検討

月	滞在地	主な訪問先
6	クリチバ市	パラナ州教育局長 クリチバ南部教育事務所 クリチバ地区州事務所 クリチバ市事務局
7		一日制学校 幼児学校 特別支援学校
8	一時帰国(8月4日～9月5日)	
9	マリンガ市	マリンガ市地区州事務所 各市の事務所、学校等
10		<ul style="list-style-type: none"> <li>・マリンガ市</li> <li>・アピカラナ市(7日)</li> <li>・アラポンガス市(2日)</li> <li>・アサイ市(1日)</li> <li>・パラナヴァイ市(5日)</li> </ul>
11	クリチバ市	日本語学校 次期教育局長との面談

## 【成果】

### 1 事業実績

事業目的達成のために、パラナ州教育局・各市教育局との打ち合わせ、学校への訪問、日本の教育についての説明（ミニ講演）などを多数行いました。（詳細は下記参照）

情報交換：州教育局内で40回、市事務局と18回、教育関係以外の部門と2回

学校訪問：州立校13校、市立校12校、私立校3校、日本語学校等9校

日本教育についての説明：教育局等で11回、市校長会議や大学での講演4回

その他：帰国日系青年との座談会1回、大学関係者との懇談1回

### 2 ブラジル教育について

情報交換や訪問を進めていく中で、ブラジル教育のすばらしさや疑問などを多数感じました。ここでは、最も印象深かった「様々な形態の学校経営の取り組みと多様な教育」について紹介します。

ブラジルは、国土の大きさに加え、多民族で構成されていることや大きな貧富格差等により、様々な問題を抱えています。日本人には想像できない多様な国です。ブラジル教育は、その多様性に対応するため、学校経営形態も様々でした。これまでの歴史で培われた二部制（午前と午後の2部に分けて授業を行う形態）を依然継続している学校、日本の一日制に近い形態をとっている学校、新しい形を半日組み込みつつ一日制に移行しつつある学校などです。さらに、「人種問題教育・農業地区教育・性教育などの多様性教育」、「院内学級」、「特別支援教育」、「道徳・人権教育」等々、様々な子どもに対応するための教育が行われています。

ブラジルの多様性に起因するこれらの教育は、どの子にも光をあてるという意味では今後も大切にしていかなければならないものであり、国内の実態に合わせた教育には難しさもありますが、ブラジルでは自国にあった歩みを着実に実現し始めていると感じました。



大学での講演

### 3 日本からの転編入並びに導入教育のスムーズ化に向けて

この点については、書類に関する問題と子どもの語学力に関する問題があります。

書類に関して、日本の各自治体では、ブラジルへの編入時にどのような書類がどのような形式で必要なのか十分な情報を掴んでいないのが現状です。今回、いくつかの自治体と

の情報交換により、本市で作成している書類の形式がパラナ州で必要としている要件を満たしていると分かりました (<http://www.gaikoku.toyohashi.ed.jp/>参照)。今後、日本国内の多くの自治体で活用していただければ幸いです。



学校訪問時、子供たちと

また、語学力に関することは、さらに大きな問題です。長期間日本に住んでいたため、ポルトガル語を十分に話すことができない子どもは少なくありません。子どものブラジル帰国に際し、日本語でポルトガル語を指導してくれる環境整備が必要だと感じました。今回の活動中に、いくつかの日本語教室を訪問し、日本語教室でのポルトガル語講座の開設を依頼してきたことにより、ブラジル帰国子女のポルトガル語習得への道を開くことができました。さらに、サンパウロ州で行われている「カエルプロジェクト」(日本から帰国してきた子どもや親のメンタルヘルスなどの、様々な問題に対応する事業)をパラナ州でも紹介することもできました。



識字率向上の取り組み



静電気の実験



授業風景

### 【気づいた点】

派遣をとおして、例えば以下のような点が今後の取り組みに求められると思いました。

- ・ 掃除の啓発
- ・ 施設、備品の充実
- ・ 教員の異動制度の導入
- ・ 教員のための授業環境充実
- ・ 授業研究の促進
- ・ バイリンガル相談員による巡回指導 など



公立学校の机



狭い職員室での仕事



異動がほとんどない教員

### 【今後の取組み】

平成 23 年度も継続して本事業を活用し、ブラジルへ職員を派遣することとなりますが、まずは今回の派遣によって上記に示したように、気づいた点についてブラジル側と意見交換を行い、取組むべき項目について意識を共有したいと思います。その上で、ブラジルに帰国した子どもたちの実態や問題点の把握を海外協力交流研修員や現地教育機関、日系人協会などと協力して行っていきたいと思っています。日本では知られていない子どもたちの様子を日本の教育現場にも周知することで、今後帰国する予定の子どもたちへの指導に生かすことができると思います。

また、海外協力交流研修員と協力して日本語学校におけるポルトガル語教室の開催を広めていくための働きかけを行ったり、来日する子どもたちが日本の教育に早期適応するために必要な事項の整理、周知なども効果の期待できる取組みだと思っています。

平成 22 年度の事業目的に教育改革支援がありましたが、文化の異なる国では学校での掃除の普及 1 つをとっても難しいことを痛感したことから、必ずしもこうした取組み全てがブラジルで受け入れられ、うまくいくとは限らないかもしれません。

しかしながら、日本の教育について説明すると、どの教育現場でも多くの質問を受け、先生方が関心を示しているのが分かりました。こちらから提案した事業も、関心の高い多くの先生方のいる環境であれば、海外協力交流研修員とも協力しながら修正を加えることで、息の長い、より良い事業として取り組んでいけるものと思います。

日本の一自治体にできることに限界はあると思いますが、日本とブラジル両国の子どもたちの教育環境向上に向けた取組みは、新たな国際協力にも繋がるものと期待しています。

## 【最後に】

慣れない異国での6ヵ月という長期に渡る生活は池崎指導主事にとって不安を抱かずにいられないものでしたが、パラナ州の職員はじめ、現地のブラジル人の方々の温かい対応のおかげで有意義な事業となりました。ここに感謝の意を示すとともに、この経験を本市の国際協力事業に活かしていきたいと考えています。

### Representante educacional do Japão visita a Sude

24/06/2010 - 16:00



A Superintendência de Desenvolvimento Educacional (Sude) da Secretaria da Educação (Seed) recebeu nesta quarta-feira (23) a visita de Isamu Ikezaki, assistente do chefe do centro educacional da cidade japonesa de Toyohashi. O assistente veio ao Brasil com a missão de conhecer a estrutura das escolas

brasileiras, buscando facilitar a adaptação tanto de estudantes japoneses no Brasil, quanto de brasileiros no Japão. Carlos Alberto Rodrigues Alves, superintendente de Desenvolvimento Educacional, explicou ao representante da educação japonesa o funcionamento da Sude.

パラナ州教育局ホームページに掲載

## ニッケイ新聞

| ホーム | 連載 | 無料メルマガ | コロナ語辞典 | リンク集 | ガルメクラブ | 健

### トップニュース

2010年7月17日付け

### 伯国体験を外国人児童教育に＝豊橋市教委の池崎さん＝半年かけパラナ各地で視察

愛知県豊橋市教育委員会からの長期派遣として6月1日から、池崎勇さん(いさむ、52歳、富山)がパラナ州に滞在している。目的は、同市とパラナ州間での教育システム等における情報交換とともに、外国人児童教育に役立てるためブラジルの文化、社会自体を知ること。約半年間、州都クリチーバや北パラナを中心に、各地の教育局や学校などを訪問する予定だ。



写真＝パラナ州の教育局を訪れた池崎さん(本人提供)

ニッケイ新聞に掲載